

意見書

平成 24 年 3 月 13 日

情報通信行政・郵政行政審議会

電気通信事業部会長 殿

郵便番号 105-7304
(ふりがな) とうきょうとみなとくひがしんぼし
住 所 東京都港区東新橋一丁目 9 番 1 号
(ふりがな) びーびーかぶしがいしゃ
氏 名 ソフトバンクBB株式会社
だいひょうとりしまりやくしゃちょうけんしーいーおー そん まさよし
代表取締役社長兼CEO 孫 正義

郵便番号 105-7316
(ふりがな) とうきょうとみなとくひがしんぼし
住 所 東京都港区東新橋一丁目 9 番 1 号
(ふりがな) かぶしがいしゃ
氏 名 ソフトバンクテレコム株式会社
だいひょうとりしまりやくしゃちょうけんしーいーおー そん まさよし
代表取締役社長兼CEO 孫 正義

郵便番号 105-7317
(ふりがな) とうきょうとみなとくひがしんぼし
住 所 東京都港区東新橋一丁目 9 番 1 号
(ふりがな) かぶしがいしゃ
氏 名 ソフトバンクモバイル株式会社
だいひょうとりしまりやくしゃちょうけんしーいーおー そん まさよし
代表取締役社長兼CEO 孫 正義

情報通信行政・郵政行政審議会議事規則第4条及び接続に関する議事手続規則第2条の規定により、平成 24 年 2 月 22 日付けで公告された接続約款の変更案に関し、別紙のとおり意見を提出します。

このたびは、「長期増分費用方式に基づく平成24年度の接続料等の改定」に対する意見募集に関し、意見提出の機会を設けて頂いたことにつきまして、御礼申し上げます。

以下のとおり弊社共の意見を述べさせていただきますので、宜しくお取り計らいの程、お願い申し上げます。

今回、東日本電信電話株式会社殿並びに西日本電信電話株式会社殿より認可申請がなされた平成24年度の長期増分費用方式に基づく接続料は、前年度比約3.6%の値上がり(GC接続3分間相当)となっています。これは、近年続いているトラフィックの大幅な減少傾向を、モデル見直しや入力値見直しによるコスト削減効果でまかないきれないという状態を示しているものと思われます。

一方で、モデル見直しに関しては、長期増分費用モデル研究会において、平成25年度以降に適用する算定モデル案の検討がなされているものの、そのモデル案によるコスト削減効果は極めて限定的となることを見込まれています。このような状況を踏まえれば、今後も接続料上昇傾向が継続することは容易に想定されるところであり、利用者利便並びに公正競争への影響が強く懸念されます。

また、PSTNからIP網への移行期においては、不可避免的に発生する二重設備の投資・維持コスト以外にも過剰な残存設備やその保全費等に係るコスト等が発生する恐れがあり、そのコストを接続料原価に算入させないことも重要な課題と考えます。

従って、弊社共が従前から要望しているとおり、IP網をベースとしたLRICモデル(以下、「IPモデル」という。)を早期に構築し、構築ができ次第、即時に適用すべきです。本年4月以降に実施が予定されている平成25年度以降の接続料算定の在り方に係る検討においては、IPモデルの早期導入のために、IPモデルの検討着手を来年度早々にも行うことをご判断頂くとともに、IPモデル導入までの間においては、暫定措置としてプライシング政策の併用をすることを前提に議論をすべきと考えます。

以上